

福祉・介護職員等処遇改善加算の取り組みについて

社会福祉法人 清輝会

社会福祉法人清輝会は、令和7年度 福祉・介護職員等処遇改善加算制度を取り入れ、職場環境向上の取り組みを行っています。

【福祉・介護職員等処遇改善加算の取得状況】

・新加算Ⅰ 取得事業所

：障害者支援施設 エルピザの里 ：障害者支援施設 アガペの里
：指定生活介護事業所 カマラードの里

・新加算Ⅲ 取得事業所

：指定共同生活援助事業所 いこいの家東金

【職場環境等要件についての取り組み】

〈入職促進に向けた取り組み〉

○法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その他実現のための施策・仕組みなどの明確化

〈清輝会の取り組み〉

- ・理念についてホームページや職員採用案内に明記している。
- ・学生に向けて、採用に関する資料を作成し、配布している。
- ・職員個々に人材育成方針、施策を明記したファイルを配布し、施策を共有する仕組みを設けている。

○他産業からの転職、主婦層、中高年齢等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

〈清輝会の取り組み〉

- ・求人内容に資格の有無、経験の有無は設けず採用を行っている。入職後、3ヶ月又は、1年にかけて育成を行う仕組みを設けている。
- ・他産業からの転職者、主婦層、未経験者、高卒者の採用実績がある。

○職場体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の実施

〈清輝会の取り組み〉

- ・高校生等の職場体験の受け入れ、実習生の受け入れを行っている。又、地域行事への参加を推進している。
- ・小学生へのキャリア授業に係る副教材を作成し、学校関係へ配布。交流事業を企画している。

〈資質の向上・キャリアアップに向けた支援〉

○エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等の導入

〈清輝会の取り組み〉

・新人職員に担当者を設け、1年間にわたり仕事、メンタル面のサポートを行う仕組みを設けている。

○上位者、担当者によるキャリア面談、働き方等に関する定期的な相談の機会の確保

〈清輝会の取り組み〉

・入職3年目までの職員に向けて育成用のファイルを活用し、上位者と面談の場を確保している。

・人事考課制度による上位者による定期的な面談、相談の機会を確保している。

〈両立支援・多様な働き方推進〉

○職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備

〈清輝会の取り組み〉

・育児・介護休業制度を設け、仕事との両立を支援している。

・本人の希望により、育児休業後の子育てに応じた勤務時間や配属場所の変更、職員の事情等の状況に応じた業務の変更等が行える環境を整えている。

○有給休暇が取得しやすい雰囲気、意識作りのため、具体的な取得目標を定め、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等から積極的な声掛け等に取り組んでいる

〈清輝会の取り組み〉

・有給休暇の取得状況を定期的に確認し、上位者から声掛けを行っている。

・毎月、翌月の休暇希望を確認し、有給休暇を取得しやすい環境を整えている。

・取得目標として、有給休暇付与日数50%の取得を目指している。

・1時間単位の時間有給休暇制度を設置し、両立支援を推進している。

〈腰痛を含む心身の健康管理〉

○業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実

〈清輝会の取り組み〉

・事業所毎に「精神衛生」の担当者を設け、事業計画書に明記している。

・福利厚生に関して法人本部に担当者を置き、相談体制を整えている。

○短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断、ストレスチェックや従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施

〈清輝会の取り組み〉

- ・勤務形態に関わらず、年1回健康診断を全職員へ実施している(夜勤勤務の職員は、年2回実施)。
- ・事業所毎に職員のための休養室を設置している。

〈生産向上のための業務改善の取り組み〉

○現場の課題の見える化

〈清輝会の取り組み〉

- ・事業所毎に業務改善に向けた委員会を設置、課題を抽出や改善に向けて実施している。

○業務支援ソフト、情報端末の導入

〈清輝会の取り組み〉

- ・業務支援ソフトを利用。利用者個々の情報を関係部署で情報共有をしている。又、利用者の状況に合わせて、タブレット端末を活用している。

○介護ロボット又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資する ICT 機器の導入

〈清輝会の取り組み〉

- ・利用者の状況に合わせて夜間時の見守りとしてロボット(見守りセンサー)を導入している。
- ・職場内の連絡の迅速化を図り、携帯電話を複数活用している。

〈やりがい・働きがいの構成〉

○ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善

〈清輝会の取り組み〉

- ・事業所の年間計画に基づき、運営に関する会議を毎月実施し、意見交換の場を確保している。又、係毎の会議を設け、情報共有を行っている。
- ・通常の会議の他に、交流を目的とした場を設け、気づきを踏まえた改善に役立てている。

○地域社会への参加・包容の推進のための、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施

〈清輝会の取り組み〉

- ・地域の区民まつり、スポーツ大会等に参加。学生の職場体験受け入れ、実習生受け入れを実施。小学生との交流授業を実施。交流を通じて社会との繋がりを推進している。